

## 令和8年度 第1回学校運営協議会（議事録）

日時：令和8年6月6日（土）10:00～12:00

会場：下田高等学校 応接室

【参加者】委員（高橋・土屋・山梨・鈴木）

鈴木校長・鈴木事務長

本校（石代副校長・佐藤教頭）・定時（三枝教頭）・分校（稲垣副校長・森本教頭）

### 次 第

#### 1 校長挨拶

・学校運営協議会制度について説明し、委員には地域に根差した学校づくりの支援と学校運営への参画をお願いした。

・令和10年度から始まる賀茂地区キャンパス制について概要を説明した。遠隔配信による授業や合同での学校行事など、各校の特色を生かしながら連携して教育力の向上を目指すことを紹介した。

・国の「ネクストハイスクール事業」において、新構想高校が協力校として位置付けられており、人口減少下でも質の高い教育を実現する先進的な取組を進めていく考えを示した。

・令和8年度の学校経営方針として、人権意識と心理的安全性の高い学校づくりを推進することを説明した。

・下田地域の観光産業の強みを生かし、デジタル技術を活用して地域に貢献できる人材の育成を目指すとともに、生徒一人一人が主体的に将来を考え、社会に貢献できる力を育てていきたいとの考えを示した。

#### 2 自己紹介

・参加者各自で自己紹介を行った

#### 3 任命状交付

・校長から任命状を委員の方々に手渡した。

#### 4 8年度会長・副会長の選出

・互選による選出であるが、山梨委員から会長の立候補があり承認された。副会長は、山梨会長から推薦があり、高橋委員が承認された。

### 【議事】

#### 5 本年度の学校経営計画について

・校長が作成した学校経営計画について説明が行われ、学校経営の基本方針が承認された。

##### (1) 全日制

・重点目標は、「グローバルで活躍できる人材の育成」「学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進」「学校の働き方改革の推進」「信頼される学校づくりの推進」

## (2) 定時制

・重点目標は「自立心を持った生徒を育てる生徒指導の充実」「個に応じた丁寧な進路指導」。進路希望は、従来の就職中心から進学希望者が半数程度を占める状況へ変化しており、1年次から進路意識を高めるための指導に取り組んでいることが説明された。

## (3) 南伊豆分校

・重点目標は「基本的な生活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生活指導の充実」「地域の特性を生かし、農業の多面性を活用した学習の展開」。多様な状況にある生徒への支援体制の充実を図るとともに、教職員の専門性を生かした教育や他校との連携を進めていく考えが示された。

# 6 学校概況について

## (1) 全日制

・進路決定状況について説明があり、ほぼ全員が進学していることが報告された。また、生徒の活躍として、女子ソフトテニス部が県総体で優勝し、全国大会出場を決めたことや、ニューヨーク研修に25人が参加したことが紹介された。さらに、黒船祭の式典では、生徒が初めて司会と通訳を務め、地域から高い評価を得たことが報告された。

## (2) 定時制

・在籍者数は27名で、女子の割合が高い。中学校時代に不登校を経験した生徒が多いものの、現在の出席状況は良好である。また、就業率の向上に向けた指導を行うとともに、SNSを活用して学校の日常の様子を週1回発信していることが報告された。

## (3) 南伊豆分校

・全校生徒数は76名で、年々増加傾向にある。2・3年次に実施しているインターンシップでは、実習先への就職につながるなど成果を上げている。また、農業クラブの県大会出場や合同部活動の実施など、地域や他校と連携した教育活動を進めている。生徒指導では、保護者や地域と連携しながら、安心して学校生活を送れる環境づくりに努めていくことが説明された。

# 7 意見交換

・分校で実施したインターンシップについて、受け入れた生徒はギター製造を志し、将来的な独立、開業という目標を持っているとの紹介があった。創業に関する助言を行うとともに、地域に戻ってきた際には支援していきたいとの意見があった。

・ニューポート研修報告書について、内容をじっくり読みたいとの感想が寄せられた。また、ニューポートとの交流が長年にわたり続いていることが紹介された。学校からは、ニューヨーク研修には25人の参加希望があったことを挙げ、この地域には国際的な学びを支える土壤があるとの考えが示された。

・DX人材育成に向けた財源確保の方法について質問があった。

(学校) 国や県の支援事業への積極的な応募や寄付制度の活用を進めるとともに、探究活動の発表に活用できる動画制作環境の整備を検討していることを説明した。

・DXの推進により、業務の効率化やキャンパス間の連携強化を図る必要があるとの意見があった。また、下田の魅力は一度外に出ることで実感できることから、生徒が地域の良さを学び、将来地域に戻って活躍したいと思える機会を充実させてほしいとの意見があった。

(学校) キャンパス間の連絡ツールの整備を進めるとともに、県全体のDX化の動向も踏まえながら、教育環境の充実を図っていく考えを示した。また、下田への愛着心を育むため、小・中学生と高校生との交流機会を積極的に設け、生徒とともに魅力ある学校づくりを進めていきたいと説明した。

・学校が今後もさまざまな取組を通して進化しようとしていることがよく分かった。  
・学校が地域との連携や生徒の育成について真剣に取り組んでいることがよく分かった。学校運営協議会委員として、その取組や学校の魅力を地域へ積極的に発信していきたいとの意見があった。

・校長が生徒を「さん」付けで呼ぶ姿勢や、日頃から丁寧にあいさつを交わすことの大切さに共感するとの意見があった。また、地域の歴史や文化資源を観光だけでなく教育にも生かしてはどうかとの提案があった。さらに、定時制の特色を生かし、退学した生徒や社会人が再び学ぶことのできる環境を積極的に発信することが、再チャレンジの支援や学校の魅力向上、入学者の確保につながるのではないかと意見があった。

・学校のInstagramは更新頻度が高く、学校の情報をタイムリーに発信しているとの意見があった。また、Instagramを通して生徒の様子を身近に感じることができ、教職員の思いも伝わってくるとの意見があった。

・事務室から、教員が授業や生徒指導により専念できるよう、学校全体の業務を見直し、業務改善を進めていく考えが示された。

・賀茂地区全体で地域の子どもの育てていくという考えのもと、学校運営協議会でいただいた貴重な意見をできる限り学校経営に反映し、より良い学校づくりにつなげていきたいとの説明があった。

・また、生徒や地域との丁寧なコミュニケーションを大切にし、自己研鑽に努めながら学校運営に取り組んでいく考えが示された。

## 8 事務局より

・今年度の日程について伝えた。

### (1) 第2回の開催日について (案)

令和8年10月1日(木) 13:30~15:30 @南伊豆分校

### (2) 第3回の開催日について (案)

令和9年2月19日（金） 14:00～16:00 @本校

\*開会后、樟耀祭の案内。